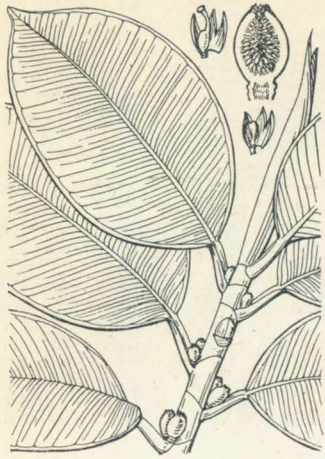


第 1948 圖

く
は
科



いんごごむのき

Ficus elastica Roxb.

印度原産ノ無毛ナル常緑樹ニシテ明治年間ニ渡
來シ、今ハ普ク觀葉植物ノ一トシテ培養シ小本
多シト雖モ、原産地ニ在テハ通常他樹上ニ生長
スル大喬木ナリ。葉ハ有柄ニシテ互生シ、大形
ニシテ橢圓形若クハ長橢圓形、急窄短鋭尖鈍頭、
綠色、厚革質ニシテ表面滑澤ナリ、中脈ハ顯著
ニシテ多數支脈ハ眞直、平行ス。托葉ハ大形膜質
ニシテ新葉ヲ包ミ紅色ヲ呈シテ早落ス。夏中、
枝上ノ葉腋ニ極メテ短キ柄アル小形橢圓形ノ花
囊ヲ生ジ單一或ハ雙生シ、花囊中ニハ多數ノ雌
雄細花混生充滿セリ。雄花ハ概ネ四萼片、一雄
蕊、雌花ハ四乃至六萼片、一子房、長キ一花柱
ヲ有ス。樹ノ乳液汁ヲ採リ彈性ゴムヲ製ス。和
名ハ印度護謨ノ樹ノ意ニシテ此樹印度ニ産シ且
ツ樹皮ヨリゴムヲ採ルヲ以テ斯ク云フ。

第 1949 圖

く
は
科



かくわつがゆ

一名 やまみかん・そののいげ
Vanieria cochinchinensis Lour.

(=*Cudrania javanensis* Tréc.;

Maclura gerontogea Sieb. et Zucc.)

暖地ノ丘陵地ニ生ズル常緑樹或ハ藤本様ニシテ高
サ3m内外、繁ク分枝シ枝上ニ刺多シ。葉ハ有柄互生
シ、倒披針狀橢圓形ニシテ長サ4-6cm、鋭尖頭ナレド
鈍端ヲ成シ或ハ凹頭ヲ呈シ下部ハ楔底ニシテ革質、全
邊或ハ波狀縁、無毛平滑、葉腋ニハ枝ノ變形セル長サ
1cm許ノ銳刺アリ。雌雄異株。夏月開花ス。花穂ハ腋生
ニシテ短梗ヲ有シ、雄花穂ハ多數ノ小ナル雄花ヲ集メテ
球狀ヲ成シ黄色ニシテ徑1cmニ滿タズ、雌花穂ハ多數
ノ小ナル雌花ヲ集メテ橢圓形ヲ成セリ。雄花ニハ三乃
至五萼片、四雄蕊アリ。雌花ニハ四萼片一雌蕊、二岐花
柱アリ。聚合果ハ肉質萼ニ包擁セラレタル多數ノ卵
圓形瘦果ヨリ成リテ卵狀球形ヲ呈シ其形はりくはニ
似テ徑10mm許、秋日成熟シテ黄赤色ヲ呈シ軟クシテ
食フベク味甘シ。和名ハ和活ケ油ナリト云フ、其語原
判然セズ、山蜜柑ハ其食フベキ果實ニ基キシ名、その
いげノいげハ刺ナレドモそのノ意ハ未詳、是レ肥前
長崎ノ方言ナリ。

第 1950 圖

く
は
科



かうぞ 一名 かぞ

Broussonetia Kazinoki Sieb.

(=*B. Sieboldii* Blume.)

諸州ノ山地ニ自生スト雖モ、又普通ニ栽植セララル落
葉樹ニシテ其自生品ハ高サ凡2-5m、幹徑時ニ20cm
ニ及ブ者アリテ能ク長キ枝ヲ分チ、皮ハ褐色ナリ。葉
ハ有柄ニシテ互生シ、卵形或ハ卵圓形ニシテ鋭尖頭、
底部ハ斜心臓形又ハ截形ヲ成シ邊縁ニ鋸齒アリ其狀
葉ニ肖テ大ナリ、氣條ノ者ハ深ク二三裂或ハ五
裂ス、質薄クシテ兩面細毛ヲ有シ、長サ7-25cm、幅4-
14cm許アリ。春季新葉萌出ト共ニ開花ス、雌雄同株ニ
シテ雄花穂ハ小枝ニ側生セル嫩枝ノ基部ニ腋生シ、雌
花穂ハ上部葉腋ヨリ出デ、共ニ有柄ニシテ小花ヲ球狀
ニ密集ス。雄花ハ四萼片四雄蕊アリ。雌花ニハ乃至四
齒アル筒狀萼、有柄ノ一子房、絲狀ノ一花柱アリ。六月
其果實球狀ニ相集リテ綠葉下ニ赤熟シ宛モ莓狀ヲ呈
シ味甘シ、小果ハ圓形ニシテ中ニ硬核アリ。往古天然
生ノ樹ヨリ皮ヲ採リ織布ヲ製シ之レヲゆふト云フ、從
來之レニ木綿ノ字ヲ充ルハ非ナリ。又樹皮ヲ採リ日本
紙ヲ製ス。從來漢名トシテ楮ヲ用ウル人アリ通雅ノ書
ニ從ヒシナルベシ、而シテ楮ハ普通ニハ楮即チかうぞ
ト通名ナリ。和名かうぞハ紙麻即チかみそノ音便ナリ
ト謂ヘドモ此木ヲ製紙ニ利用スル以前既ニ織布即チ
ゆふヲ織ルニ使用シ當時カミソノ名アリシナルベケレ
バ紙麻ヲ其語原トスルハ中ラズト信ズ、蓋シかみそハ
かうぞヨリ出デ、かうぞハかみそヨリ導カレシナラン。

第 1951 圖

く
は
科



かぢのき (楮・構楮)

Broussonetia papyrifera L' Herit.

(=*Papyrius papyrifera* O. Kuntze.)

落葉喬木ニシテ今ハ普通ニ諸州ニ栽植セララルト雖モ元來ハ往
時南方暖地ヨリノ渡來ト推定セララル、然レドモ周防國祝島ニ
ハ自生アリテ問題ヲ提供セリ。樹ハ直立シテ分枝シ高サ
10m、幹徑60cmニ達シ、新枝ニハ絨毛ヲ密布ス。葉ハ有柄、互
生、時ニ對生或ハ三葉輪生シ、廣卵形、鋭尖頭、底部ハ圓形・截
形或ハ稍心臓形、老樹ノ葉ハ其基部橢圓形ヲ呈スト雖モ稚樹ニ
在テハ然ラズ、又稚樹枝ノ葉ハ往々三或ハ五裂ス、邊縁ニハ
鋸齒アリ、上面縞澁、裏面ハ葉柄ト共ニ絨毛ヲ密生ス。托葉
ハ卵形ニシテ紫色ヲ帯ビ早落ス。春日、淡綠色ノ花ヲ腋ク。
雌雄異株。雄花穂ハ嫩枝ノ下部ニ腋生シ、有梗、圓柱形ノ葉
腋花序ヲ成シテ下垂ス。雌花ノ萼ハ四裂、四雄蕊アリ。雌花
穂ハ嫩枝ノ下部ニ腋生シ有梗、球形ヲ成シ毛ノ如キ紫色ノ花
柱周圍ニ射出ス。雌花ノ萼ハ筒狀ニシテ三乃至四裂ス。子房
ハ有柄ニシテ花柱ハ絲狀ナリ。果後ハ短柄ヲ有シテ球形ヲ成
シ多量ノ多果トヨリ成リ、徑2cm許アリ。果實ハ核果ニシ
テ秋熟スレバ多數果球ノ周圍ニ斗出シ、赤色ノ籠狀ヲ呈シ
多汁ニシテ一椀ヲ其上部ニ容レ頂ニ遺存セル花柱ヲ見ル。枝
皮ヲ製紙原料トスルヲ以テ通常之レヲ楮ニ栽培シ其株ヨリ
生ズル枝條ヲ刈リ其皮ヲ剥キ用フ。我邦從來此樹ニ楮ノ字ヲ
用ウルハ俗用ナリ。和名ノかぢハ明解ナシ、是レ或ハかうぞ
ノ古名カミソノ轉化ニハ非ザル乎。

第 1952 圖

く
は
科



くは

Morus bombycis Koidz.

普ク圃地並ニ山地ニ栽植セララル落葉喬木。幹ハ直立
シテ分枝シ其大ナルハ高サ10m 徑60cmニ及ブ者アレ
ド圃地ニ在ル者ハ斷エズ刈伐セラレテ灌木狀ヲ呈ス。
葉ハ有柄互生シテ早落托葉ヲ有シ、卵形乃至卵圓形ニ
シテ先端急ニ狹窄シテ尖リ底部ハ多少心臓形ヲ成シ
邊縁ニ鋸齒アリ、或ハ往々分裂シ、表面縞澁、裏面微毛
ヲ帶フ。四月、新葉ヲ有スル新生枝基部ニ腋生セル有
柄ノ穗狀花序ヲ成シテ下垂シ淡黄綠色ノ小花ヲ開キ
雌花穂ハ雄花穂ヨリ短シ。元來雌雄異株ナレドモ又時
ニ同株ノ者アリ。花ハ四萼片ヲ具ヘ花瓣無シ。雄花ニ
四雄蕊アリ。雌花ニハ雌蕊アリテ子房頂ニ直立セル花
柱ハ先端二裂ス。果實ハ瘦果ニ着テ長橢圓形ヲ呈
存萼片ニ包擁セラレテ軸ニ着テ長橢圓形ヲ呈シ、増大
所謂偽果ナル核果ヲ形成スレドモ實ハ果總ニ、増大
セル萼片ニ熟シテ紫黑色ト成リ食シ得ベシ、葉ハ養蠶
ニ賞用ス。此種ノ山中ニ自生スル者ニヤマクハ (for-
ma spontanea Makino) アリテ通常其果總ニ果實極
メテ少ク、葉柄ハ往々紅色ヲ帶フ。和名ノ語原ニ兩説
アリテハ食葉即チくは、一ハ蠶葉即チこはノ轉ナリ
ト云フ、何レモ蠶ノ食フ葉ノ意ナリ。漢名桑(慣用、
嚴格ニ云ヘバ我邦産ノくは之レ中ラズ是レ支那産
品ノ名ナリ)

くはくさ (水蛇麻)

Fatoua japonica Blume.

(=*Urtica japonica* Thunb. non. L.; U.

villosa Thunb.; F. villosa Nakai;

Boehmeriopsis pallida Komar.)

廢地・圃中・路傍等ニ普通ニ見ル一年生草本ニ
シテ高サ40cm内外アリ。根ハ分枝シ、莖ハ直立
シテ普通疎ニ分枝シ綠色ニシテ時ニ暗紫色ニ染
ミ葉ト同ジク微毛アリテ皮ニハ弱キ纖維アリ。
葉ハ有柄ニシテ互生シ、卵形ニシテ鋭尖頭ヲ有
シ底部ハ截形又ハ稍心臓形ヲ成シ葉縁ニ鋸齒
ヲ具ヘ、質薄クシテ三主脈ヲ有シ葉面縞澁ス。
葉柄ハ瘦長ニシテ基部ニ小針様ノ二托葉アリ。
秋日主莖並ニ小枝上ノ葉腋ヨリ長短數本ノ梗ヲ
出シ、聚繖花序ヲ成シテ淡綠色ノ多數小花ヲ攢
簇ス。雌雄同株ニシテ雌雄花混生ス。雄花ニハ
四深裂萼片アリテ花瓣ナク、萼片ト對生セル約
雄蕊アリテ微シク之レヨリ超出シ、花絲長ク葯
小ナリ。雌花ニハ船形萼アリテ下部豐滿シ中
圓形ノ一子房アリテ一花柱其側方ヨリ出デ。果
實ハ瘦果ニシテ一種子ヲ藏ス。和名ハ桑草ノ意
ニシテ桑葉ノ觀アル葉狀ニ基キテ云フ。

第 1953 圖

く
は
科

